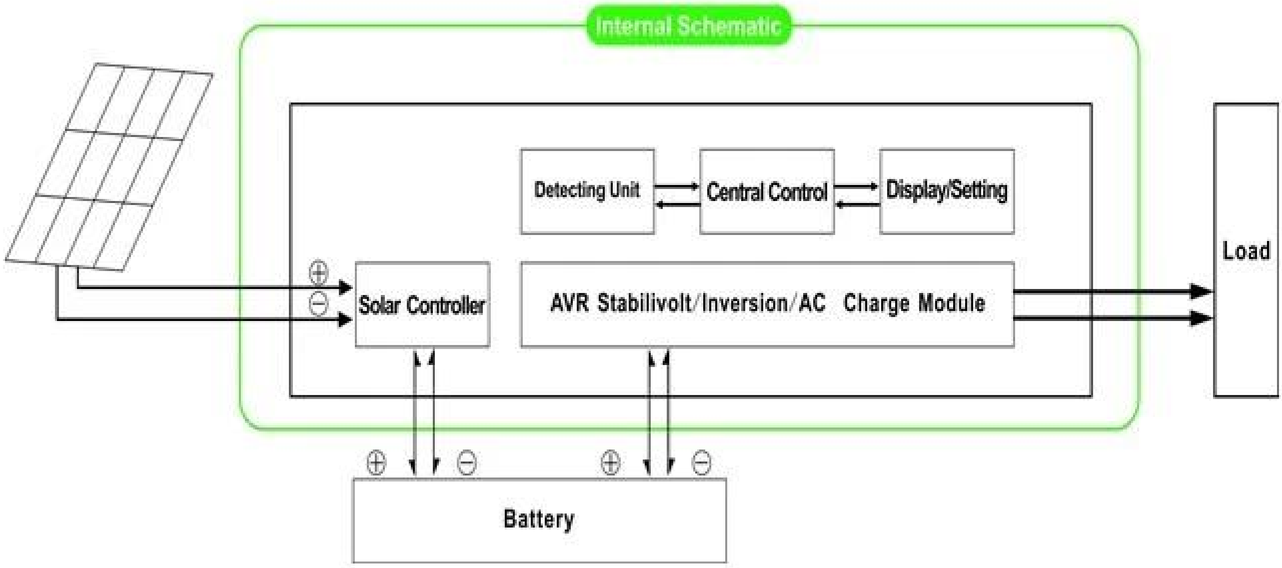


特長

1）簡単にインストールします。太陽系を構成するには、ユーザ専用ソーラーパネルやバッテリーとそれを接続する必要があります。

2）CPUの管理と制御、モジュール設計

3）LCDディスプレイ、視覚的に表示することができ、出力電圧などの各種パラメータ（周波数、作業モード、など）。

4）多機能設計は、顧客が太陽購入する必要はありません、コントローラ、充電器と安定剤など。

5）外部バッテリー接続、バックアップ電源時間を拡張することが便利;地元日光や風に応じて、必要に応じて、ユーザーは、多数の電池を接続することができます。

6）超耐荷重能力および高負荷容量で、 &NBSPは、このシリーズ;インバータは、抵抗負荷を駆動することができませんのみ。しかし、誘導性負荷にも各種 モータ等、エアコン、電気ドリル、蛍光灯、ガス灯、などこれは、負荷のほとんどすべての種類を駆動することができます。

7）低周波純粋な正弦波回路設計、優れたシステムの安定性、メンテナンスのために簡単、適切な動作の下での低故障率と長寿命（、それは）5年ほどの長さであってよい。

8）パーフェクト保護：低電圧保護、過電圧保護、過熱保護、短絡保護、保護をオーバーロード。

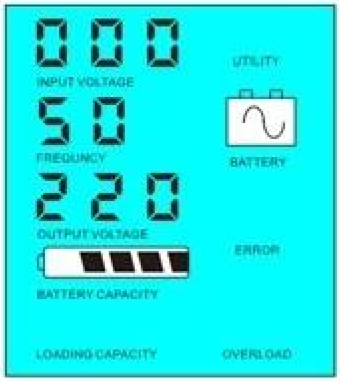
9）CE / EMC / LVD / RoHS指令/ CCC承認を。

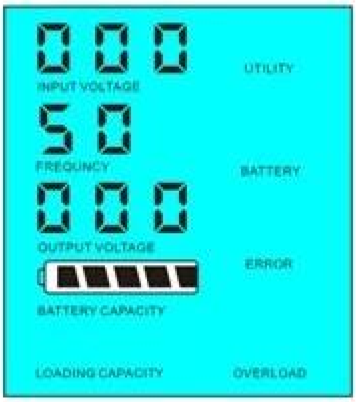
10）2年間保証、生涯技術支援。

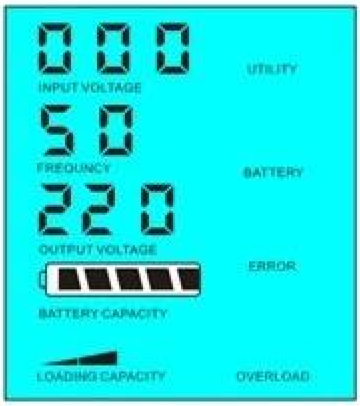
機能

反転モードの下の1。ソール反転機能（のみに接続 バッテリー）、通常の動作モードとスリープモードに設定することができ

1.1ノーマル動作モード：液晶ディスプレイの周波数がどんなにACインバータに接続された負荷かがあるかどうかを01として設定されていない、インバータの出力端子は、常に負荷に電力を供給する準備ができて電圧を有する。このモード下では、 LCDは、ベローズのように表示されます。







1.2&NBSPは、スリープモード: LCDディスプレイにおける周波数は次のように設定されている 02インバータに接続された負荷の電力がインバータの定格電力の5%未満であると、インバータからの出力されません。すなわち、インバータのみのチップは、このような条件の下で動作していると、電力消費は1-6Wであり;インバータに接続された負荷の電力がインバータの定格電力の5%より高い場合、次に、インバータは自動的に反転機能を開始し、5秒以内に負荷に電力を供給する。以下に示すように:

Load's power< 5% of inverter's rated power

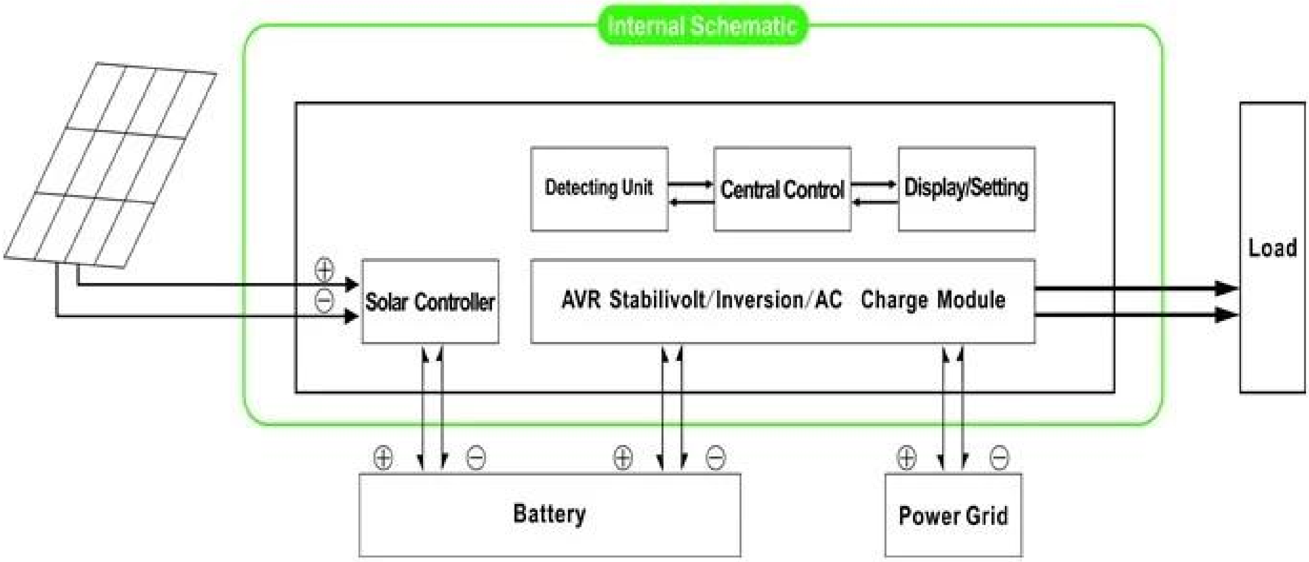
Load's power> 5% of inverter's rated power

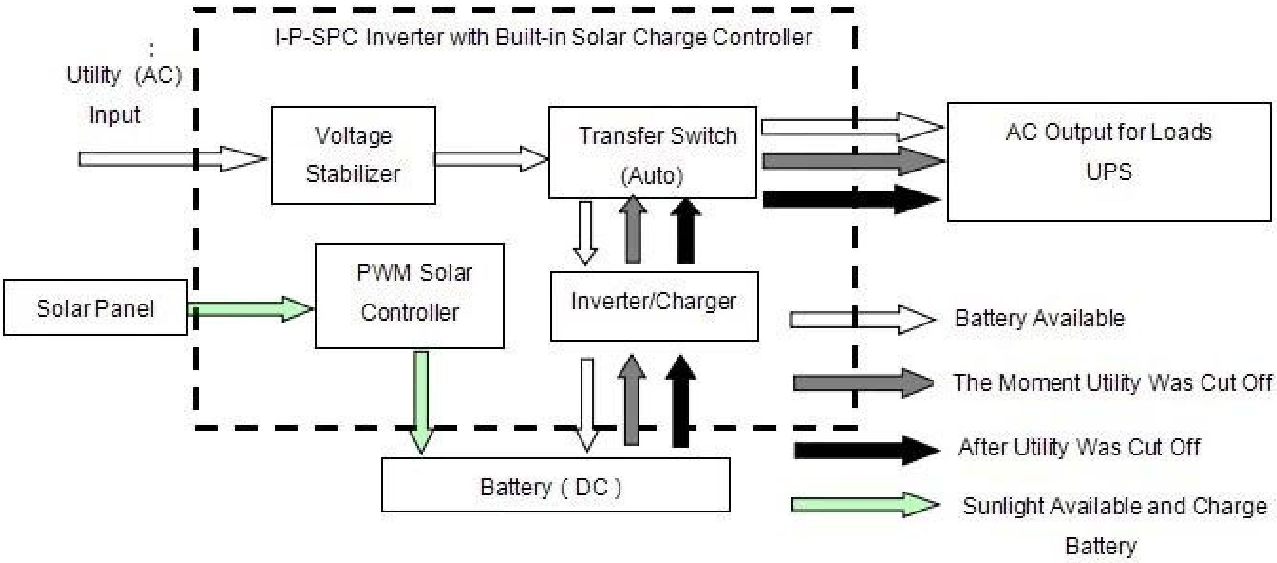
このモード下でのシステム導入:

1）だけが太陽電池パネルは、バッテリーを充電

2）独立唯一のオフグリッド太陽光発電システム; &NBSPている地域に適し;&NBSPは、&NBSPは、&NBSPは、&NBSPは、有用性の不足や豊富な太陽エネルギーを持っている

バッテリーとユーティリティに接続ユーティリティモード（下の2 UPSの機能は、最初のユーティリティとして設定することが.Can、第1のバッテリのスタンバイモードとバッテリー、ユーティリティスタンバイモード。





2.1。ユーティリティまず、バッテリースタンバイUPSモード：両方のユーティリティと、バッテリがインバータに接続されている場合LCDディスプレイでFREQUENCYが01に設定される、ユーティリティは、前のバッテリに負荷に電力を供給する。ユーティリティが遮断されると、バッテリは自動的に反転後の電力を供給していきます。

以下のような手順は次のとおりです。

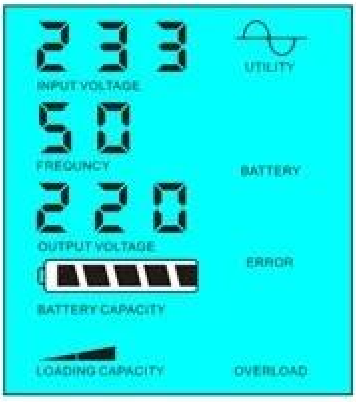
ステップ1：商用電源が利用可能である場合、これは、電圧の後に直接出力を同時に安定化し、充電電池されるであろう。

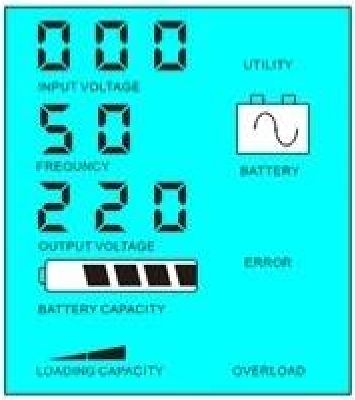
ステップ2：商用電源が突然遮断され、インバータは、5msの内の無停電電源装置を確実にするために自動的に直流電力を交流電力に変換する。

ステップ3：商用電源が再び使用可能になる、それは自動的に、同時に負荷や充電バッテリにユーティリティ電力供給に転送されます。

以下のようにワークフローを参照してください。

怒鳴るように表示される液晶ディスプレイ：





Utility supply power and charge battery

Without utility and battery supply power

このモード下でのシステム導入:

1）バッテリーを充電する2通りの方法があります、ユーティリティとソーラーパネル

2）このシステムは、頻繁にユーティリティせず/地域で使用するユーティリティや電源システムを欠いている地域に建設され、電力システムに適しています

2.2。最初のバッテリー、ユーティリティスタンバイUPSモード: 液晶ディスプレイの周波数は03&NBSPとして設定されている。ユーティリティとバッテリの両方は、インバータに接続されている場合、バッテリーは、従来のユーティリティに負荷に電力を供給する。電池容量が十分でない場合には、ユーティリティは自動的に電源を供給していきます。

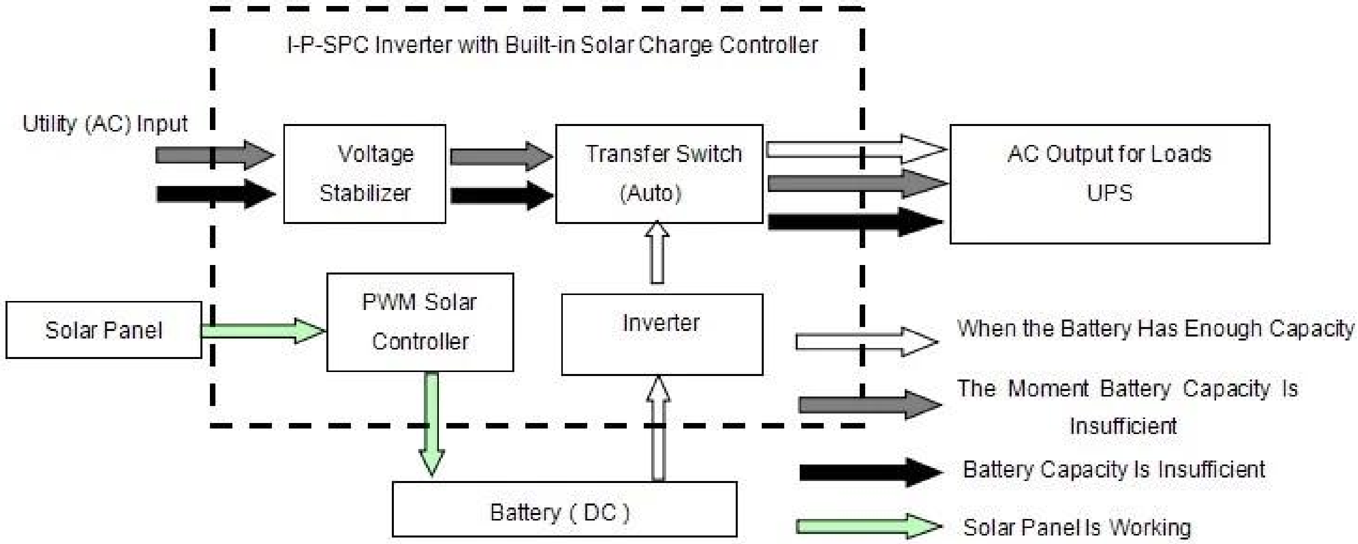
以下のような手順は次のとおりです。

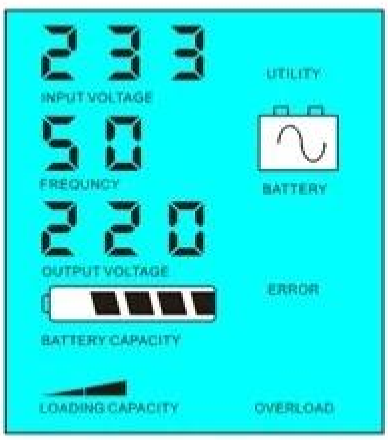
ステップ1: バッテリが十分な力を持って、直接負荷に電力を供給する。

ステップ2: バッテリが十分な電力を持っていない、それは自動的に負荷に電力を供給してユーティリティに転送されます

手順3: バッテリが完全に充電された後（太陽や風力充電コントローラにより）、それは自動的に負荷に電力を供給するバッテリに転送する。

以下のようにワークフローを参照してください。





怒鳴るように表示される液晶ディスプレイ:

Battery has power and supply power

Battery dead, utility supply power

このモード下でのシステム導入:

1）バッテリー、ユーティリティと太陽電池パネルを充電する2通りの方法があります

2）このシステムは、頻繁にユーティリティせず/地域で使用するユーティリティや電源システムを欠いている地域に建設され、電力システムに適しています

2.2。バッテリーまず、ユーティリティスタンバイUPSモード: 液晶ディスプレイの周波数は03&NBSPとして設定されている。ユーティリティとバッテリの両方がインバータに接続されている場合、バッテリーがユーティリティに先立って負荷に電力を供給する。電池容量が十分でない場合には、ユーティリティが自動的に電源を供給していきます。

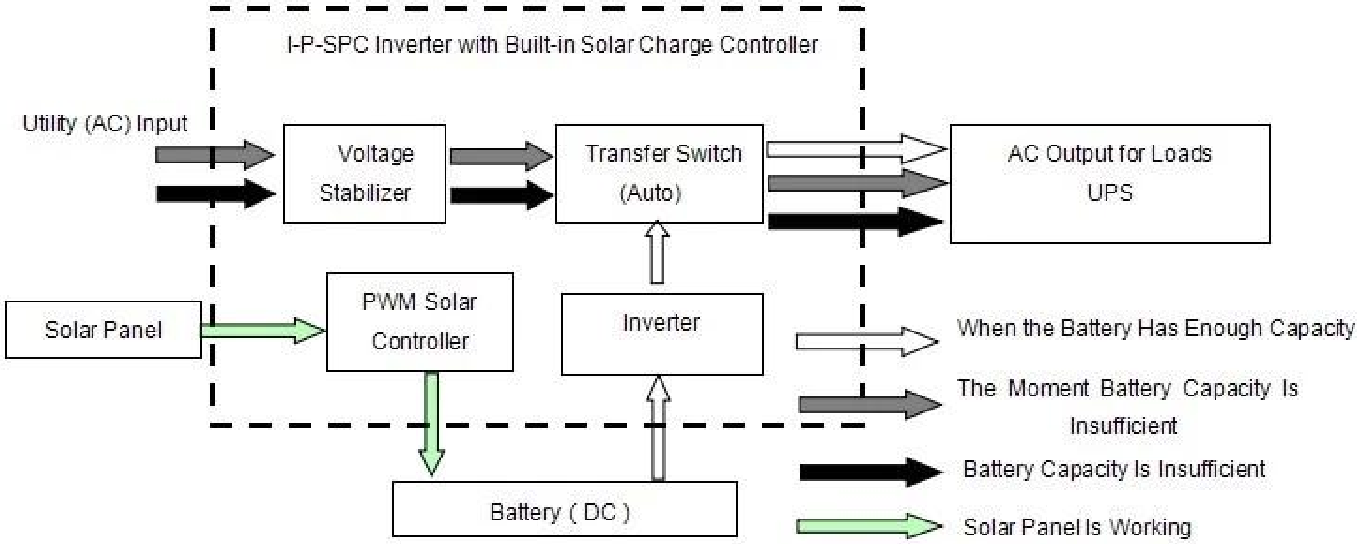
以下のような手順は次のとおりです。

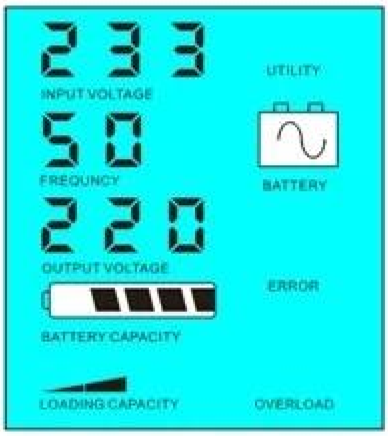
ステップ1: バッテリが十分なパワーを有する場合、直接負荷に電力を供給する。

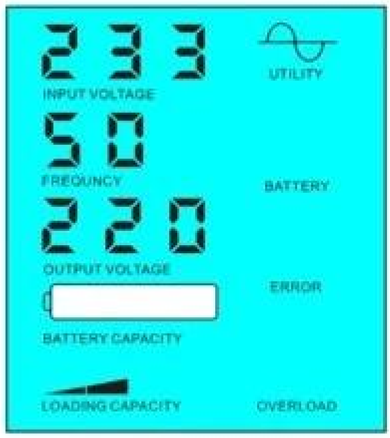
手順2: バッテリーは十分なパワーを持っていないときは、自動的に負荷に電力を供給してユーティリティに転送されます

手順3: バッテリが完全に（太陽や風力充電コントローラにより）充電された後、それは自動的に負荷に電力を供給するバッテリーに転送されます。

以下のようにワークフローを参照してください。







怒鳴るように表示される液晶ディスプレイ:

Battery has power and supply power

Battery dead, utility supply power

このモード下でのシステム導入:

ソーラーパネル: 1) バッテリーを充電するための唯一の方法があります

2) このシステムは、電気は太陽光発電が完全にutiliypowerを保存するために使用することができ、高価で環境的領域である領域に適している 風系や街灯ソーラー&風系、家族ソーラー&#038として

パラメーター

モード		1000VA
定格の 射出能力		700W
ピーク パワー		1400W
バッテリー 電圧 (DC)		24V
PWMソーラーコントローラー	電圧	24V
	現在の	20A
	PVマックス 入力電圧	50V
サイズ W×D×H (mm) の		335 * 165 * 375

パッキング サイズW×D×H (mm) の		355 * 185 * 395
ネット 重量 (kg)		12
グロス 重量 (kg)		13
将軍 パラメーター		
ワーキング モード (設定)	1	ユーティリティ まず、バッテリースタンバイ
	2	スリープ モード、無ユーティリティ、負荷の電力定格電力の5%より高い、作業を開始 自動的に
	3	バッテリー まず、ユーティリティスタンバイ
AC インプット	電圧	35%±220V または110V + 35% (オプション)
	周波数	3%±50Hzの または60Hz±3% (オプション)
AC 出力	電圧	3%±220V または230V±3 or240V±3%または100V±3%または110V±3% (オプション)
	周波数	0.5±50Hzの または60Hz±0.5 (オプション)
ユーティリティ 充電	AC充電 現在の	0~15A
	充電 時間	ディペンド 電池容量や量に
	バッテリー 保護	自動 検出、充放電保護、インテリジェントな管理
PV 充電		合計 PV入力の電流が定格電流未満でなければなりません
ディスプレイ	ディスプレイ モード	液晶+は、LED
	ディスプレイ 情報	インプット 電圧、出力電圧、出力周波数、バッテリ容量、負荷条件、ステータス情報
出力 ウェーブタイプ		純粋な 正弦波出力、波形歪みrate≤3
過負荷 能力		> 120%で1分、> 130%の10S
パワー 消費	スリープ モード	1~6W
	ノーマル モード	1~3A
変換 効率		80%~90%
譲渡 時間		<5msの (DC / DCへのACにAC)
保護		過負荷 出力短絡、高電圧入力は、低電圧入力は、過熱
環境	温度	-10℃~50℃
	湿度	10%~90%
	標高	≤4000m

上記とパラメータ」または「パラメータが行う必要があることを意味します 顧客の好みに従って工場出荷時の設定。

コントローラ情報は、上記の当社の標準パラメータであり、顧客の要求に応じて変更することができる。

私たちは私たち自身の専門のインバータ制御装置とUPSのR＆アンプを持っています。Dチームと私たちは技術サポートとOEMサービスを提供しています。

接続図

その他

概略設計を参照してください、技術資料、製品カタログ、その他

技術部によって作られて、 5月5日、 2014、第1版